

第 22 回 RcMcD 融合研究セミナー (5 研究科共同セミナー)

演 題：睡眠制御研究の最前線

講演者： 桑 和彦（名古屋市立大学大学院薬学研究科・教授）

日 時：2019年11月22日(金)14:30～16:00

場 所：広島大学理学研究科 E209 講義室

講演概要

睡眠についての最大の謎とされるのは、なぜ私たちは毎日眠らなければならないのか、何が睡眠の必要性を作り出すのかという睡眠の量的制御機構である。近年、この謎に対する遺伝学研究によるアプローチが急速に進み、睡眠の本質が解明されつつある。睡眠の制御因子の一つである概日周期生物時計は、ショウジョウバエを用いた研究から分子機構が解明され、2017 年のノーベル賞につながったが、この研究の最大の成果として、単一細胞でも生物時計を作ることが示された。睡眠も同様に、ショウジョウバエや培養神経細胞を使った研究の結果から、単一神経細胞でも記述可能な細胞自律的な現象である可能性が示され、100 年以上前の日本の研究を起源とする睡眠物質という考え方も変わってきている。本講義では、私たちの進めてきた遺伝学研究を中心に、最先端の睡眠研究を概観する。

講師略歴

- 2013-現在 名古屋市立大学大学院薬学研究科・教授
- 2002-2013 熊本大学 発生医学研究所・准教授
- 2000-2002 タフツ大学医学部 神経科学・客員研究員
- 1999-2000 ハーバード大学・客員研究員
- 1997-2002 東京大学大学院医学研究科・医学部・助手
- 1992-2002 東京大学医学部(医)生化学教室・助手

